

| | |
|-------------|-----------------------------|
| Syllabus Id | Syl.-100549 |
| Subject Id | Sub-100900033 |
| 更新履歴 | 20100325新規 |
| 授業科目名 | 学外実習C Off-campus Training C |
| 担当教員名 | 宮下 真信 MIYASHITA, Masanobu |
| 対象クラス | 制御情報工学科5年生 |
| 単位数 | 1履修単位 |
| 必修／選択 | 選択 |
| 開講時期 | 集中 |
| 授業区分 | |
| 授業形態 | 実習 |
| 実施場所 | 受け入れ企業 |

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

社会との密接な接触を通じて、自己の適性および職業選択の方向性と把握させるとともに、専門領域についての実務能力および学習意欲の向上を図る。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

- ・守秘義務など社会における工業倫理について学習しておくこと
- ・実習中のけがなどに備え、傷害保険に必ず加入しておくこと

| 学習・教育目標 | Weight | 目標 | 説明 |
|---------|--------|----|---------------------------------------|
| | | A | 工学倫理の自覚と多面的考察力の養成 |
| | | B | 社会要請に応えられる工学基礎学力の養成 |
| | | C | 工学専門知識の創造的活用能力の養成 |
| | | D | 国際的な受信・発信能力の養成 |
| | ◎ | E | 産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成 |

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

以下の項目を授業目標とする。

- ・実務の現場で行われている専門領域の職務を理解し説明できる。
- ・自己の適性と職業選択の方向性を把握し、自分の意見をまとめることができる。
- ・高専における学習内容の位置づけを実務に照らし合わせて説明することができる。
- ・実習内容をまとめることができるとともに、第三者に対して説明することができる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

| 回 | メインテーマ | サブテーマ | 参観 |
|-----|-----------|-----------|----|
| 第1回 | 受け入れ企業による | 受け入れ企業による | |
| 第2回 | | | |
| 第3回 | | | |
| 第4回 | | | |
| 第5回 | | | |
| 第6回 | | | |
| 第7回 | | | |
| 第8回 | | | |

| | | |
|------|--|--|
| 第9回 | | |
| 第10回 | | |
| 第11回 | | |
| 第12回 | | |
| 第13回 | | |
| 第14回 | | |
| 第15回 | | |
| 第16回 | | |
| 第17回 | | |
| 第18回 | | |
| 第19回 | | |
| 第20回 | | |
| 第21回 | | |
| 第22回 | | |
| 第23回 | | |
| 第24回 | | |
| 第25回 | | |
| 第26回 | | |
| 第27回 | | |
| 第28回 | | |
| 第29回 | | |
| 第30回 | | |

課題

評価方法と基準
評価方法:
 学外実習報告書の提出と報告会におけるプレゼンテーションを義務付け、それを通じて授業目標の達成度を評価する。プレゼンテーションには口頭試問を含む。

評価基準:
 学外実習評定書30%、学外実習報告書40%、報告会におけるプレゼンテーションの内容30%の割合で評価する。

| | |
|--------------------|--|
| 教科書等 | 受け入れ企業などより与えられる。 |
| 先修科目 | |
| 関連サイトのURL | 沼津高専インターンシップ情報サイト http://user.numazu-ct.ac.jp/~mochizuki-k/jugyo/intern/index.html |
| 授業アンケートへの対応 | |
| 備考 | 1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。 |